

令和3年度 第1回西区地域公共交通検討会議 会議概要	
開催日時	令和4年2月15日(火) 午前10時～午前11時35分
会場	西区役所4階 対策室
出席者 (敬称略)	<p>西区自治協議会 岩脇 正之、山賀 昌子、岩沢 孝金、大谷 一男、 伊藤 甲一</p> <p>コミュニティ佐潟バス運営委員会 会長 高島 圭介 内野上新町バス運営委員会 会長 古俣 正樹</p> <p>国土交通省北陸信越運輸局新潟運輸支局 運輸企画専門官 渋谷 博行 新潟西警察署交通課 交通管理係 係長 近藤 肇(代理)</p> <p>新潟市ハイヤータクシー協会 事務局長 新田 文雄 新潟交通観光バス株式会社営業部乗合バス課 課長 松田 英憲 都市政策部都市交通政策課 課長補佐 吉田 宏(代理)</p> <p>西区役所地域課 課長 松尾 大介 西区役所建設課 課長 渡辺 大介</p>
欠席者 (敬称略)	新潟交通株式会社乗合バス部企画調整課 稲家 雄太
事務局	都市政策部都市交通政策課 1名、西区役所地域課 3名
主な議事	<p>1 開会</p> <p>2 議事</p> <p>(1) 西区生活交通改善プランの進捗について</p> <p>(2) 各団体等の課題について意見交換</p> <p>○事務局より、西区生活交通改善プランの概要及びプランにある具体的な交通施策の今年度の取り組み状況と目標達成に向けた今後の取り組みの説明があり、各実施主体で取り組めること等について意見交換を行いました。</p> <p>▷ 主な意見・質疑は、以下のとおり</p> <div style="border: 1px dashed black; padding: 10px; margin-top: 10px;"> <p>○デマンド交通とはどのようなものなのか。(西区自治協議会)</p> <p>⇒大きな車両で決まった時刻に走行するバスと比較して、小型車両で予約がある場合のみ相乗りで走行する形であり、コストを抑えて運行できるもの。社会実験を北区・南区で行っているが、相乗が少なく個人での利用が多い、特定の方が多く利用しているという実態があり、制度化に踏み切れないでいる。(都市政策部都市交通政策課)</p> </div>

○J R 越後線について、新潟駅から越後赤塚駅を結ぶ便を増やしてほしい。(内野上新町バス運営委員会)

⇒J R 東日本も民間会社であり、要望活動は続けていくが、実現が難しいというのがJ R 東日本の判断かと思う。以前、社会実験を行い、結果として利用が少なかったという実態もある。今後も粘り強く要望は続けていく。(都市政策部都市交通政策課)

○曾和上新町線の整備完了にあわせて、有明線を五十嵐3の町、上新町、平和台団地を経由するルートに変更してほしい。

(内野上新町バス運営委員会)

⇒市が新潟交通株式会社に対し、個別の路線の要望を行うことは基本ない。現在、新潟駅の整備に合わせて、駅南口から古町・万代に行けるようなバス路線を徹底してほしいといった願いはある。そういった考えもあるということで、新しい道路の完成に合わせて、路線の変更をするかは新潟交通株式会社が検討していくところのため、お声は共有させていただく。(都市政策部都市政策課)

○タクシー利用推進につながる新しい制度(割引券の導入)を検討してもらえないか。市全体で区バス・住民バスにどのぐらい予算がついているのか。また、鳥原のバス停に隣接する形で近隣のタクシー事業所の移転を検討してほしい。(西区自治協議会)

⇒市全体の区バス・住民バスへの予算は約2億円。新しい制度はこれから検討していく。(都市政策部都市交通政策課)

⇒タクシーの現状としては、高齢者割引の制度はない。免許証を返納した方や、障がい者の方への割引はある。タクシーは運賃が高いというのがみなさんのイメージかと思うが、料金設定は変えることができない。料金に関する部分については行政などの支援があれば考えられると思う。事務所の移転について対応はできないが、お声をいただければすぐタクシーの手配の対応はできるはずなので積極的にご利用いただきたい。(新潟市ハイヤータクシー協会)

○行政の説明では期待を持たせるような内容になっている。新潟交通株式会社は民間企業である。新型コロナウイルスの影響もあり運行事業協定に基づいた内容の維持も凍結するが、それに対して我々は意見できない。(西区自治協議会)

○プラン策定時と状況が変化しつつあり、要求は賛成だが、行政側もはっきりした答弁をするべきである。(西区自治協議会)

○小新亀貝の道路拡張はどのような状況か。(西区自治協議会)  
⇒現在道路が通っていないところから用地買収を進めており、買収が完了したところから整備を進めているが、全体が完成するにはしばらく時間がかかる。(西区役所建設課)

○コミュニティ佐潟バスについて、年々団体の自己負担額が微増している。昼間の利用者が少なく、学生の利用が主のため通学バスのような形になっている。ついては、時期によって車体の大きさを変える、一部をタクシーにするなど運行内容の見直しを検討したい。(コミュニティ佐潟バス運営委員会)  
⇒バス車体の大きさを変更しても、経費に大きな差はないと思われる。(新潟交通観光バス株式会社)  
⇒運行内容の見直しについては、今後ともに協議していきたい。(西区役所地域課)

○赤塚～中野小屋～内野町を經由して病院やスーパーをめぐる循環バスを10本/日運行してほしい。(内野上新町バス運営委員会)  
⇒地域課とともに今後について検討させてほしい。(事務局)

○高齢者の近所の移動について問題はでているか、地域の実情が気になる。(西区自治協議会)  
⇒基本的に遠くまで行かない。(西区自治協議会)  
⇒活動の場が徒歩圏内のため困っていない。(西区自治協議会)  
⇒タクシーの利用か、親族の送迎で対応している。(西区自治協議会)  
⇒基本は徒歩で問題ない。徒歩で行けない場合はタクシーや昼間であればバスで対応している。コミュニティ単位での集まりは車で対応している。バス料金は高く利用しづらい。(西区自治協議会)  
⇒地域で送迎し合っており、困っていない。(コミュニティ佐潟バス運営委員会)

○住民バス以外のタクシー等の新しい手段も視野にいれて次の計画策定をしていったほうがよい。(西区自治協議会)

○福祉バスについて、運輸局内での考えを知りたい。(西区自治協議会)  
⇒東区で行われている福祉バスの取り組みは特殊であり、運送法の枠組みの外の案件である。しかし、こういった自分で移動できない人に対し地域の資源を利用して取り組んでいく方向性はでてきているため、これからの方針は国も考えていくかと思われる。(新潟運輸支局)

	<p>○次年度以降も本会議を開催し、西区生活交通改善プランの進捗状況の確認と各実施主体等の取り組みを共有することとしました。</p> <p>3 閉会</p>
傍聴者	なし